

小児科

臨床研修期間(2年間)	
病院名	医療圏
独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院	1401横浜北部
昭和大学藤が丘病院	1401横浜北部
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	1401横浜北部
医療法人社団明芳会横浜旭中央総合病院	1401横浜北部
菊名記念病院	1401横浜北部
公益財団法人横浜労働者福祉協会汐田総合病院	1401横浜北部
昭和大学横浜市北部病院	1401横浜北部
済生会横浜市東部病院	1401横浜北部
恩賜財団済生会横浜市南部病院	1403横浜南部
国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院	1403横浜南部
国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院	1403横浜南部
公立大学法人横浜市立大学附属病院	1403横浜南部
横浜市立みなと赤十字病院	1403横浜南部
公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	1403横浜南部
独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜中央病院	1403横浜南部
康心会汐見台病院	1402横浜西部
財団法人神奈川県警友会けいけい病院	1402横浜西部
独立行政法人国立病院機構横浜医療センター	1402横浜西部
横浜市立市民病院	1402横浜西部
社会福祉法人親善福祉会国際親善総合病院	1402横浜西部
医療法人柏堤会戸塚共立第1病院	1402横浜西部
東戸塚記念病院	1402横浜西部
社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷横浜病院	1402横浜西部
帝京大学医学部附属溝口病院	1404川崎北部
聖マリアンナ医科大学病院	1404川崎北部
川崎市立多摩病院	1405川崎南部
医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院	1404川崎北部
独立行政法人労働者健康安全機構関東労災病院	1405川崎南部
川崎市立川崎病院	1405川崎南部
医療法人社団こうかん会日本鋼管病院	1405川崎南部
川崎協同病院	1405川崎南部
川崎市立井田病院	1405川崎南部
日本医科大学武蔵小杉病院	1405川崎南部
社会医療法人財団石心会川崎幸病院	1405川崎南部
独立行政法人国立病院機構相模原病院	1410相模原
北里大学病院	1410相模原
神奈川県厚生農業協同組合連合会相模原協同病院	1410相模原
横須賀市立うわまち病院	1406横浜東・三浦
国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院	1406横浜東・三浦
横須賀市立市民病院	1406横浜東・三浦
医療法人沖繩徳洲会湘南鎌倉総合病院	1406横浜東・三浦
社会医療法人財団互恵会大船中央病院	1406横浜東・三浦
藤沢市民病院	1407湘南東部
医療法人徳洲会湘南藤沢徳洲会病院	1407湘南東部
一般財団法人同友会藤沢湘南台病院	1407湘南東部
医療法人社団康心会湘南東部総合病院	1407湘南東部
茅ヶ崎市立病院	1407湘南東部
平塚市民病院	1408湘南西部
国家公務員共済組合連合会平塚共済病院	1408湘南西部
東海大学医学部付属病院	1408湘南西部
神奈川県厚生農業協同組合連合会伊勢原協同病院	1408湘南西部
秦野赤十字病院	1408湘南西部
大和市立病院	1409県央
海老名総合病院	1409県央
厚木市立病院	1409県央
医療法人社団三思会東名厚木病院	1409県央
医療法人沖繩徳洲会湘南厚木病院	1409県央
小田原市立病院	1411県西
山近記念総合病院	1411県西
神奈川県立足柄上病院	1411県西

専門医研修期間(標準3年間)			
基幹施設名	医療圏	基幹・連携施設名	医療圏 病床数
社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会 横浜市東部病院	1401横浜北部	済生会横浜市南部病院	1403横浜南部 500
独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院	1401横浜北部	神奈川県立こども医療センター	1403横浜南部 419
⇒横浜市立市民病院	1402横浜西部	けいけい病院	1402横浜西部 410
		神奈川県立こども医療センター	1403横浜南部 419
横浜市立大学附属病院	1403横浜南部	横浜労災病院	1401横浜北部 650
		済生会横浜市東部病院	1401横浜北部 560
		国立病院機構横浜医療センター	1402横浜西部 510
		横浜療育医療センター	1402横浜西部 117
		横浜市立大学附属市民総合医療センター	726
		横浜南共済病院	1403横浜南部 565
		済生会横浜市南部病院	1403横浜南部 500
		横浜市立みなと赤十字病院	1403横浜南部 634
		神奈川県立こども医療センター	1403横浜南部 419
		横浜医療福祉センター港南	1403横浜南部 170
		横須賀共済病院	1406横浜東・三浦 742
		藤沢市民病院	1407湘南東部 536
		茅ヶ崎市立病院	1407湘南東部 401
		大和市立病院	1409県央 403
		小田原市立病院	1411県西 417
地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター	1403横浜南部	横浜市立大学附属病院	1403横浜南部 674
		横浜市南部病院	1403横浜南部 500
聖マリアンナ医科大学病院	1404川崎北部	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	1402横浜西部 518
		川崎市立多摩病院	1404川崎北部 376
川崎市立川崎病院	1405川崎南部	こうかんクリニック	1405川崎南部 ー
北里大学病院	1410相模原	JN神奈川県厚生連相模原協同病院	1410相模原 437
		海老名総合病院	1409県央 479
公益社団法人地域医療振興協会横浜箕立うわまち病院	1406横浜東・三浦	神奈川県立こども医療センター	1403横浜南部 419
藤沢市民病院	1407湘南東部	横浜市立大学付属市民総合医療センター	1403横浜南部 726
		横浜市立大学付属病院	1403横浜南部 674
		湘南藤沢徳洲会病院	1407湘南東部 419
東海大学医学部付属病院	1408湘南西部	国立病院機構神奈川病院	1402横浜西部 139
		東海大学医学部付属大磯病院	1408湘南西部 312
		伊勢原協同病院	1408湘南西部 350
		秦野赤十字病院	1408湘南西部 320

地域実践標準4年(専門医研修を希望しない場合は7年間)							
病院名	医療圏	基幹	大学・基幹施設連携施設派遣の取扱い	地域枠等診療人数の目安(人)	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)	
独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院	1401横浜北部	650	基幹施設人事による派遣人事も含む		小児科：当科では専攻医(1年目)を数名採用してきたが、新専門医制度が開始となり、当科族時の採用枠への応募が0となってしまう、現在は横浜市下小児科から派遣のみとなってしまったため。	小児科：「最良の小児プライマリーケアの提供」「母と子にやさしい周産期医療」「小児科医の育成」を3本柱としている。また、小児アレルギー、小児内分泌、小児外科の常勤医がいることから幅広い小児プライマリーケアを習得することができる。直当も小児科直当と新生児直当の2当直体制をとっており新生児医療にも十分な対応ができるようにしている。小児の超音波診断で有名な徳山中央病院小児科部長のもとに1ヶ月超音波研修に派遣している。	
社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会 横浜市東部病院	1401横浜北部	562	基幹施設人事による派遣人事も含む		当院は横浜市東部地域の中核病院です。救命救急センター、小児救急、産科救急などをおこなっています。症例数、指導医数なども十分であり、地域枠の医師を育成するのに協力させていただきたいと考えています。	鶴見区、神奈川区の地域中核病院で、救命救急センター中心に24時間365日応需のER型救急医療を提供しています。多数の症例を経験することができます、若い医師の育成ができると考えています。	
昭和大学藤が丘病院	1401横浜北部	584			—	当院は、大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を多く経験することが出来ます。	
公立大学法人 横浜市立大学 附属市民総合医療センター	1402横浜西部	726	医師人事による派遣人事も含む				
横浜市立市民病院	1402横浜西部	650	医師人事による派遣も含む	未定	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日々よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りたいと思います。	
公立大学法人 横浜市立大学 附属病院	1403横浜南部	674	医師人事による派遣人事も含む	未定			
国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院	1403横浜南部	565			小児科：研修受け入れが不足している状況であれば条件が合致すれば対応可能です。ただし専門医研修取得研修が不可能なので、一年ごとの研修先の見直しを検討事項に入れてください。	小児科：一般診療科から専門診療、新生児・周産期医療まで幅広く研修が可能です。小児救急も行っています。しっかり勉強する時間も作れます。デメリットとして、当院は小児研修基幹施設ではないので、後期研修施設として小児科専門医を取得するためのキャリアアップにはなりません。	
神奈川県立こども医療センター	1404横浜南部	419			小児専門医療	小児科専門医に関しては基幹施設です。	
聖マリアンナ医科大学病院	1404川崎北部	1208	医師人事による派遣人事も含む		神奈川県地域医療医師修学資金を受けている医師の中には本学の卒業生も含まれており、母校の附属病院において後期臨床研修を行ってもらいたいという考えはもちろんあるが、神奈川県地域医療医師修学資金制度の趣旨を理解し、地域医療を担う医師になりたいという修学生のキャリア形成支援を行い、地域医療に従事する医療人の育成に努めることは本学の責務であると考えている。	本学は規模や特性の異なる4つの病院、大学病院、東横病院、横浜市西部病院、川崎市立多摩病院と、乳がんなどの乳腺疾患に特化したプレスト&イメーシング先端医療センター附属クリニックを有している。これらの附属病院等において後期臨床研修を行うことによって、高度先進医療からプライマリーケアに至るまでの幅広い臨床研修を積むことができる。また、医師として学び続ける姿勢が身につく、医師としてのプロフェッショナルズムが養われる。	
日本医科大学武蔵小杉病院	1405川崎南部	372			【小児科】武蔵小杉地区は再開発に伴い人口増加が著しい地区にあります。14歳未満の小児人口も増加が著しく加えて当院では新生児医療にも力を入れております。しかしながら、小児並びに新生児科の医師数では地域医療に十分な対応がとれておりません。人口増加地区への地域枠医師の配置を希望します。	【小児科】小児科の研修のみならず希望者には新生児医療の研究も併せて行うことが出来、体重500～600gの赤ちゃんの診療に携わることもできます。また、「中児小児救急センター」として時間外診療も365日行っており、小児救急の研修も行うことが出来ます。	
横須賀共済病院	1406横浜東・三浦	742			・地域に根差した病院であり、開業医の先生方と大学病院やこども医療センターなど高次医療機関との連携のみならず個々の患者及び家族とともに自分が将来どのように小児科医療に携わるか考える時間と機会を与えられると思うため。	一般外科を始め開心術から小児手術まで幅広く症例があり、有意義な研修が行えます。	
横須賀市立うわまち病院	1406横浜東・三浦	417	基幹施設人事による派遣人事も含む		横須賀・三浦医療圏の医師不足、地域医療に資するため。	横須賀市立うわまち病院は三浦半島の東部、横須賀市の中央に立地する臨床研修指定病院です。当院は教育・研修におきまして臨床研修センターを備え、地域医療を目指す医師のために質の高い基礎教育を行っています。診療におきましては急性期から社会復帰まで一貫した患者支援を基本にし日帰り手術センターをはじめとして機能に特化したセンター化を進め、効率的で高度な医療システムを構築するとともに顔の見える医療連携を合言葉に周囲の医療機関との診療連携も大切にしています。また、当院は患者様の立場に立った医療の透明性、説明責任などにも配慮し診療情報開示、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進なども行っています。	
湘南東部総合病院	1407湘南東部	348		2名	湘南東部医療圏に限定せず、今後高齢化率の高い県内のいずれの医療機関でも不安なく診療にあたる実力を医師として獲得できるように体制を整え、希望者をSubspecialty領域専門医の研修や高度・先進の医療、大学院などでの研究を開始する準備の経験が出来ることで、地域医療に貢献を果します。	当院は神奈川県湘南東部医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診、病院連携の中核であります。一方で地域に根差す第一線の病院でもあり、コンディショニングの経験はもちろん、超高齢化社会を反映し、複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病院連携や診療者(在宅訪問診療施設などを含む)との病院連携も経験できます。	
医療法人徳洲会湘南藤沢徳洲会病院	1407湘南東部	419	未定	2名	臨床研修病院として39年の歴史に根差した当院の屋根瓦式教育は卒業後臨床研修評価機構(JOEP)からも連続で認定を受け、若手医師のニーズに沿った良質な研修、指導環境が提供できていると自負している。神奈川県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的に進めたい。	湘南藤沢徳洲会病院では、日常遭遇する疾病と障害に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看取りなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生かす人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。	
東海大学医学部付属病院	1408湘南西部	804	基幹施設人事による派遣人事も含む		神奈川県西部の医師不足は慢性的な状況であり、地域医療に貢献する若手医師をより多く育成していきたい。	大学病院ならではの豊富な症例数(重症例を含む)と指導医数。充実した設備の中で研修が可能です。院内保育所や育児のための短期間勤務制度もあり、女性支援制度も充実しています。	
東海大学医学部付属大磯病院	1408湘南西部	312	(人事による派遣先)		(大学人事の受入施設)	当院は23科の診療科体制で、西湘地区の中郡において唯一、入院病床を持つ中核病院として、救急外来・ICUを備えた急性期のみならず、リハビリテーション等の慢性期をも充実させた医療を提供しています。また、地域包括ケア病院においては地域との連携を密に、急性期から近隣施設や在宅に向けた切れ目のない医療に取り組んでいます。専門医・指導医が多数在籍しており、地域に密着した丁寧な医療の提供をベースにした、十分な教育指導を受けることが可能です。	
平塚市民病院	1408湘南西部	416			平成29年度から当院では救命救急センターを設置しています。また、湘南西部の二次医療圏で唯一産婦人科と小児科の二次救急を担っていることから将来的に地域で活躍する医師の教育、指導により一層力を入れていきたいと考えています。	現在、改築整備中の病院が平成31年3月にグランドオープンいたします。内科系、外科系各科をはじめとした29診療科が揃っており各科の研修施設になっています。また、救命救急センターのほか地域医療支援病院、がん診療連携指定病院、災害医療拠点病院の指定を受けており、十分な研修環境・体制が整っています。明るく活気があり湘南マインドあるれた病院と一緒に仕事をしませんか。	

地域実践標準4年(専門医研修を希望しない場合は7年間)					
病院名	医療圏	大学・基幹施設連携施設派遣の取扱い	地域等専業人数の目安(人)	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
神奈川リハビリテーション病院	1409県央	320		特定の医局以外の医師を配置することにより、当院の活性化につながることを期待でき、ひいては県央地域医療の活性化につながるものと期待できるため。 ※当院は東京慈恵会医科大学及び横浜国立大学から医師の派遣を受けています。	令和元年8月に当院の再整備が完工シグランドオープンする予定です。40有余年の歴史と伝統のある神奈川のリハ医療を最新鋭の施設設備にて体得することが出来ます。市中病院ではあまり経験のできない障害者医療を経験することができ、診療の幅を広げることが出来ます。
社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	1409県央	469	医局人事による派遣人事も含む	当院は昭和58年地域の皆様に誘致していただく形で海老名市に開院して以来神奈川県の中核的医療機関として地域に医療提供を行ってまいりました。従来以上に医療を通じた地域貢献を果たしていくため受け入れを希望します。	当院は海老名市に加え近隣の座間市、綾瀬市を含む県央地域約33万人の診療圏を有する急性期中核病院です。病院理念である「仁愛のもとに皆様とともに考える医療をめざします。」に従い患者・家族・医療者が一つになって疾病の回復、社会復帰に努力する本当のチーム医療を目指しております。医療福祉に関するほとんどの機能をグループ内に備え、平成29年4月には県央二次医療圏初の救命救急センターを開院予定であり、様々な角度から地域量に携わる環境が整えられております。
独立行政法人国立病院機構 相模原病院	1410相模原	458		相模原病院は免疫異常(リウマチ、アレルギー)高度専門医療で、全国に2か所のアレルギー疾患中心拠点(他国立成育医療研究センター)に指定されています。また、神奈川県の中核病院として、がん診療連携指定病院、災害協力病院、地域医療支援病院といった役割も担っています。このため、初期研修に引き続いて神奈川県内で活躍する後期研修医の確保・教育に貢献したいと考えております。	当院は世界で一番多くの食物アレルギーの患者さんを診療しています。アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎などのアレルギー疾患も多数診療しています。当院小児科ではアレルギー疾患に関する専門的な知識を学ぶことが可能です。また、小児一般疾患に関しては相模原市の二次医療の当番の半分を引き受けており、幅広い疾患を見る事が可能です。
千木良診療所 藤野診療所 青野原診療所	1410相模原			相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での地域医療に力を注いでいるが、25年度にて自治医科大卒業生の派遣が終了し、医師不足が原因により目指すところの、安全・安心の地域医療が滞る状況となっている。	訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験
北里大学病院	1410相模原	1033	医局人事による派遣人事も含む	【小児科】 ・小児科の医師の人員不足	【小児科】 ・小児集中治療室を有する急性期高度救急医療ができる病院
小田原市立病院	1411県西	417		当院は県西地域の基幹病院として29の診療科を備え、急性期、高度医療や救急医療を担うとともに地域周産期母子センターとして小児、周産期救急また脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などのあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全不整脈等の心臓疾患全般だけでなく全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行っております。 全国的な医師不足の中当院でも医師の招聘に苦慮しており、今後も県西地域の基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受入を希望するものです。	当院は地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病院連携や病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。当院で自治医科大卒業の医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師や20名ほど在籍する初期研修医として互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事してもらえんことを期待しています。また、当院は多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れております。また、診療科間の連携も密に行われていることから診察しやすい勤務環境が整っております。